

第143回新生ふくしま復興推進本部会議
第45回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議
合同会議 議事録

- 日時：令和6年9月5日（木）10：00～10：08
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、報告事項の1つ目「国の令和7年度予算概算要求」、報告事項の2つ目「国の令和7年度予算概算要求（福島イノベーション・コースト構想推進関連）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。政府予算対策につきましては、6月の政府要望をスタートとして、国との協議を進めてまいりました。

資料の左側は、7月の福島復興再生協議会において、知事から各大臣に直接要望いただきました項目を記載しております。右側は、各府省庁から公表された令和7年度概算要求の主な状況を対応させております。

第2期復興・創生期間の最終年度となる令和7年度においても、避難地域の復興・再生を始めとして、おおむね、本県の要望を踏まえた必要な予算が計上されております。

今後、財政当局との折衝に向け、各府省庁の取り組みを後押しできるよう、各部局が根拠となるデータや事例等を用いて丁寧に説明し、本県の要望が年末の政府予算案に確実に反映されるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてまいります。

次に「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」について、資料2を御覧ください。要望に対応した各項目について、資料右側に概算要求の主な状況を記載しております。

「研究開発等の推進・産業集積の促進」に係る事業など、福島イノベーション・コースト構想の推進に必要な予算が盛り込まれているほか、F-R-E-Iの取組に係る予算も計上されているなど、おおむね、本県の要望が反映されております。

引き続き、本県の要望の着実な予算化に向け、国との調整にしっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

今の説明に関して、危機管理部。

【危機管理部長】

危機管理部関連では、東京電力福島第一原子力発電所の廃炉対策としての予算が計上されているほか、原子力防災の強化や原子力災害対応の実効性の向上、ALPS処理水の海洋放出に係る海域環境モニタリング実施に必要な予算が計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

風評・風化戦略担当理事。

【風評・風化戦略担当理事】

風評・風化戦略担当関連では、福島再生加速化交付金にて、本県や県内市町村がふくしまの魅力や正確な情報を県外に向けて発信するために必要な予算が計上されています。

引き続き、必要な予算が措置されるよう、復興庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

避難地域復興局。

【避難地域復興局次長】

避難地域復興局関係では、福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業、特定帰還居住区域整備事業、被災者支援総合交付金など、避難地域の復興・再生及び避難者等の生活再建の実現に必要な予算が計上されております。

引き続き、必要な予算・制度が措置されるよう、関係省庁との調整をしっかりと進めてまいります。

【鈴木副知事】

生活環境部。

【生活環境部長】

生活環境部関連では、中間貯蔵施設事業や除去土壌等の県外最終処分に向けた理解醸成など、環境回復の取組のほか、カーボンニュートラル推進のための予算が計上されました。

また、地域公共交通の維持・確保、野生鳥獣対策など、県民生活の安定・向上を図るための予算も計上されています。

今後も、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部。

【保健福祉部長】

保健福祉部関連では、被災者の心のケアへの支援、避難地域等における医療提供体制の再構築に加え、双葉地域における中核的病院の整備に向けた経費など、必要な取組について計上されております。

引き続き、これらの予算が確実に確保されるよう、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部。

【商工労働部長】

商工労働部関連では、被災事業者の事業再開支援や創業支援事業、企業立地補助金、観光関連復興支援事業など、産業の再生や創出に向けた予算が計上されております。

さらに、福島イノベーション・コースト構想関連の予算として、実用化開発や、福島新エネ社会構想に関する経費等が計上されております。

これらの予算が確実に確保されるよう、今後とも必要な調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部。

【農林水産部長】

農林水産部関係では、「福島県営農再開支援事業」や風評払拭を総合的に支援する「福島県農林水産業復興創生事業」に加え、新たに帰還困難区域における森林・林業の再生に関する予算などが計上されました。

今後とも、これらの予算が確実に確保されるよう、本県農林水産業の再生に向け、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

土木部。

【土木部長】

土木部関連では、社会資本整備総合交付金の復興枠による道路整備について、本県の要望を踏まえた必要な予算が計上されております。

また、復興関係以外では、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が事項要求として盛り込まれております。

引き続き関係省庁と連携しながら予算確保に取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

教育庁。

【教育庁理事兼政策監】

教育庁関連では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置継続、イノベ構想を担う人材育成など、「福島ならではの」教育を推進するために必要な予算が計上されております。

本県教育の更なる充実発展のため、これらの予算が確実に確保されるよう、引き続き、関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

ほかにありますか。なければ、知事からお願いいたします。

【知事】

国の令和7年度予算概算要求が公表されました。

各部局長から発言があったとおり、それぞれが国との協議を進め、あらゆる機会を捉えて令和7年度の予算確保を訴えてきました。

その結果、避難地域の復興・再生や避難者等の生活再建、風評払拭・風化防止対策、地域産業の再生などに関する事業が盛り込まれたところであり、関係府省庁には、おおむね福島県の要望を踏まえた対応をしていただきました。

第2期復興・創生期間の最終年度となる令和7年度において、福島の復興と地方創生を更に前へと進めるため、年末の政府予算案に十分な予算や制度が確実に盛り込まれることが必要であり、これらの取組が重要となります。

あわせて、第2期復興・創生期間後も切れ目なく安心感を持って復興を進めていくため、期間後における財源や制度の確保に向けた重要な局面が続きます。

部局長の皆さんにおいては、引き続き緊張感を持って、粘り強く国との協議・調整を進めてください。

【鈴木副知事】

以上で合同会議を終了します。